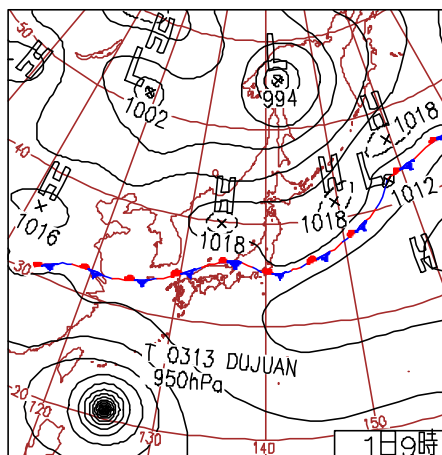


日々の天気図

No. 20

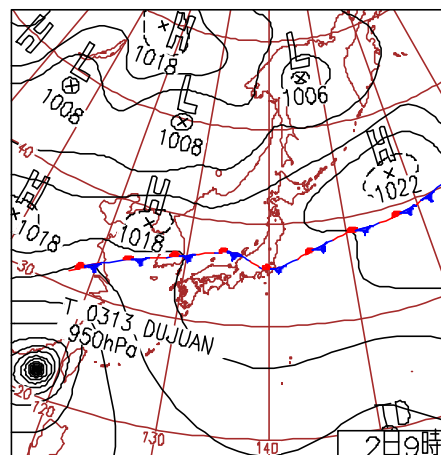
2003年 9月

- ・10日～14日、猛烈な台風第14号が日本付近を通過。宮古島では最大瞬間風速74.1m/s、最低気圧912.0 hPa。台風と前線により西日本を中心に大雨。
- ・19日～22日、台風第15号が沖縄から本州南岸を東進。三宅島阿古で日降水量210mm。銚子で最大瞬間風速35.1m/s。
- ・26日、「平成15年(2003年)十勝沖地震」発生。



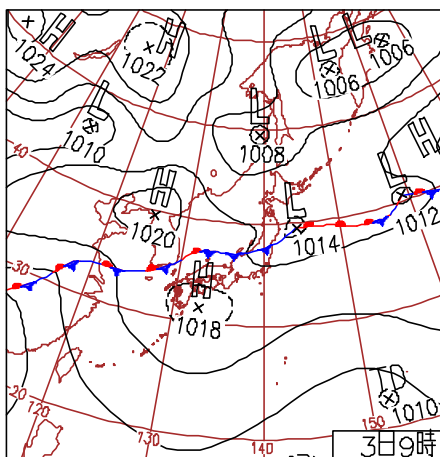
1日(月)防災の日、各地で訓練

前線や気圧の谷の影響で関東以北では曇り。西日本の太平洋側は晴れて真夏日、大分県日田では35.3。福井・潮岬でサルズベリが開花、ともに観測史上最も遅い。



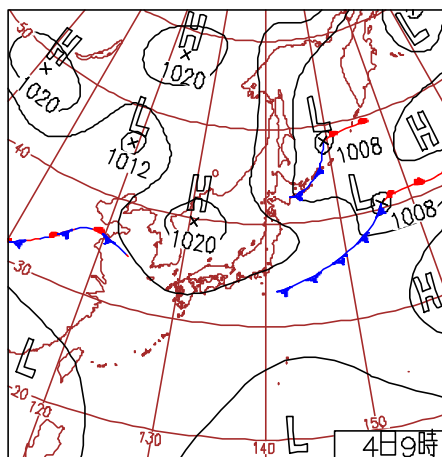
2日(火)西日本で厳しい残暑

北陸～関東に停滞していた前線は次第に北上。前線に近い東北や北陸では曇りや雨。その他の地方は概ね晴れて東・西日本は真夏日。西日本では最高気温が35を超えた所も。



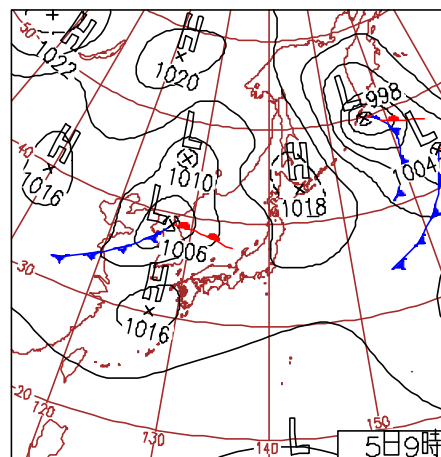
3日(水)国会議事堂に落雷

北陸～東北部では前線により強い雨。東・西日本の太平洋側では真夏日の所多く、静岡県浜松(36.6)など、今年最高の気温を記録。東京では激しい雷雨により帰宅の足混乱。



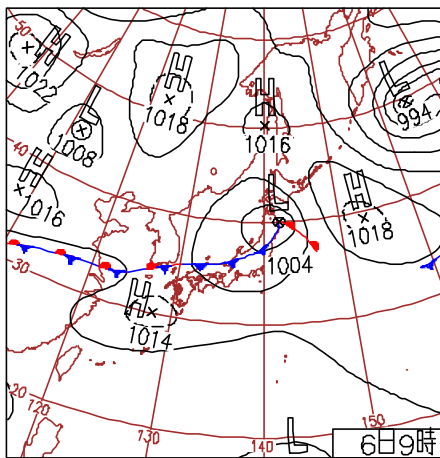
4日(木)九州で真夏並の暑さ

高気圧に覆われて全国的に晴れ。西日本では最高気温が30以上で、連日の厳しい残暑。九州では35以上。大分県日田で36.4、熊本で36.1。八戸ではススキが開花。



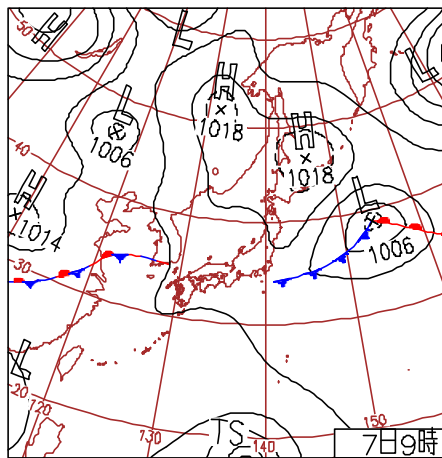
5日(金)東京でススキ開花

東北以北は低気圧の影響で雲広がる。その他の地方は高気圧に覆われて全般に晴れ。西日本では真夏並の暑さ。東京では最小湿度23%を観測、9月の記録3位を更新。



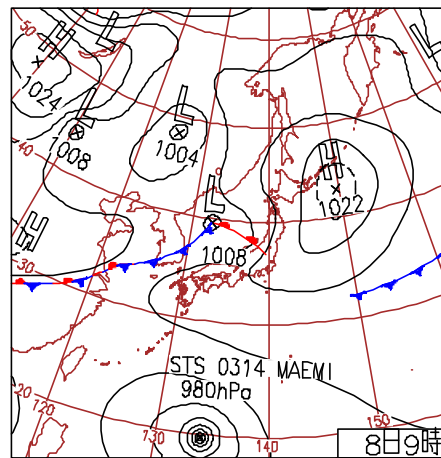
6日(土)台風第14号発生

低気圧や前線により北日本や日本海側で雨。北陸や山陰では1時間に30～40mmの短時間強雨。関東から西の太平洋側は晴れて気温上昇。マリアナ諸島で台風第14号発生。



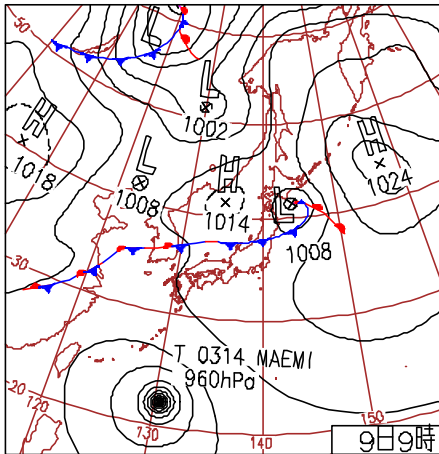
7日(日)西日本で残暑続く

東北～関東の太平洋側では北東気流により曇り。その他の地方は高気圧に覆われて概ね晴れ。東海以西では太平洋側を中心に30を超える真夏日が続いている。



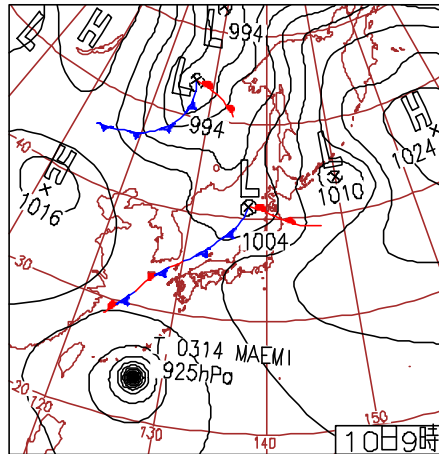
8日(月)北冷西暑

低気圧が日本海を東北東進。北日本では雨で気温が低い。西日本では晴れて残暑。最高気温は北海道根室で15.4、大分県日田で35.8、その差20以上。屋久島で竜巻。



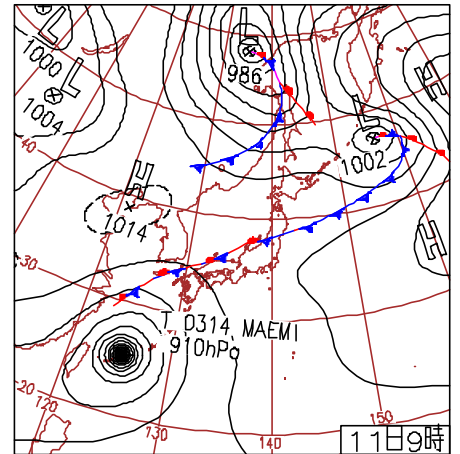
9日(火)長寿県は西高東低

低気圧と前線により北日本は曇り。東・西日本の太平洋側は高気圧に覆われて晴れ。厚生労働省は、100歳以上の高齢者の比率が高い長寿県は西日本に多いと発表。



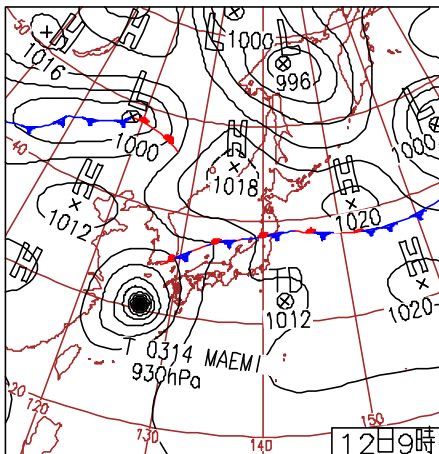
10日(水)猛烈な台風接近

台風第14号は猛烈に発達しながら宮古島に接近。東・西日本の一部では南から暖湿な空気が入り1時間50mm前後の激しい雨。関東は晴れて気温上昇。東京・千葉・神奈川で熱帯夜。



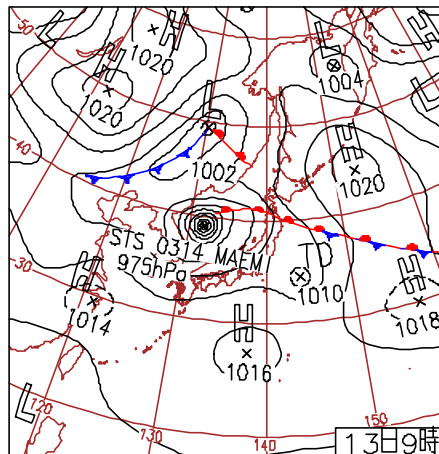
11日(木)宮古島で猛烈な風

猛烈な台風第14号は未明に宮古島を通過。宮古島では日本の観測史上4番目に低い気圧912.0hPaのほか、日最大風速38.4m/s、最大瞬間風速74.1m/sを観測。



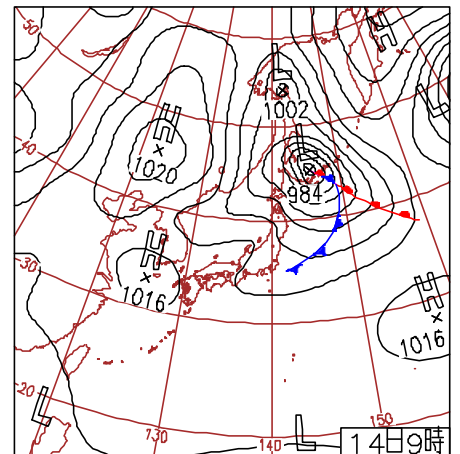
12日(金) 朝鮮半島に台風上陸

西日本では台風吹き込む湿った南風の影響で大雨。特に四国では徳島県阿南で291mm、高知県本川で248mmなど、200mm以上の日降水量を観測。



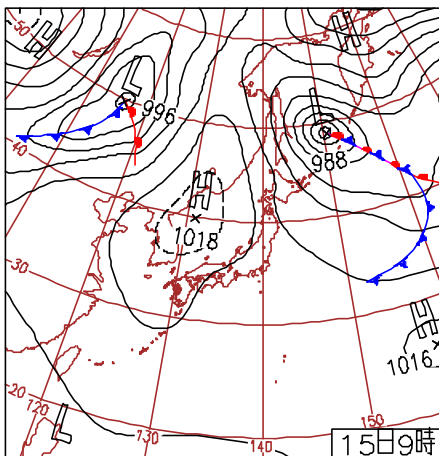
13日(土)フェーン現象

台風第14号が日本海を北東進。台風吹き込む南風により、各地で気温が上昇。特にフェーン現象が発生した北陸では、最高気温が富山県伏木37.4、新潟37.1、金沢36.1。



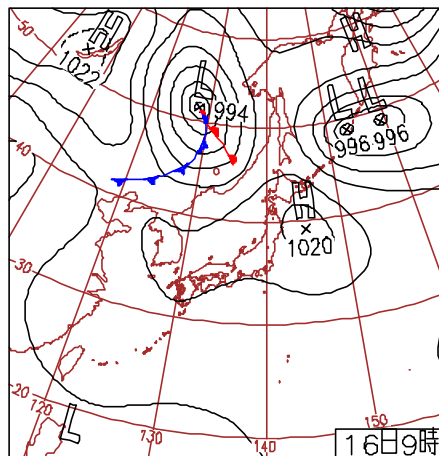
14日(日)台風第14号温低化

台風第14号は宗谷海峡からオホーツク海に進み、午前6時に温帯低気圧に変わる。北海道や東北の一部で雨の他は全国的に晴れ。関東や北陸では夕方から一時雨。



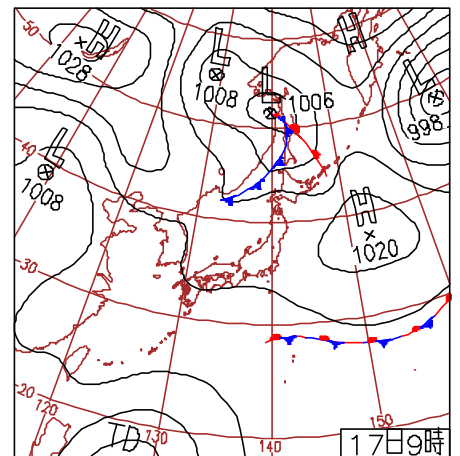
15日(月)全国的に爽やかな晴れ

上空に寒気が入り、午前中は東北を中心に雨や曇り。午後は南北に長い高気圧に覆われて全国的に晴れ。30を超えた所もあるが、湿度が低く爽やか。



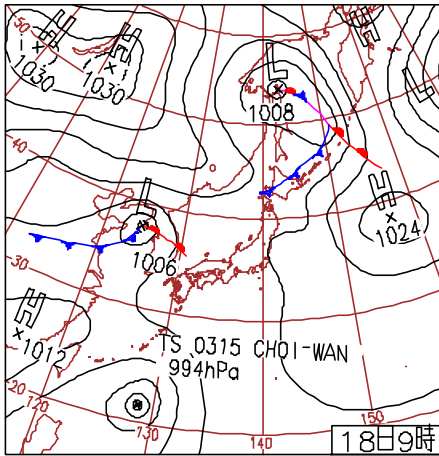
16日(火)日照時間が10時間以上

大きな高気圧に覆われて全国的に晴れ。北日本では日照時間が10時間以上。気温は北日本で平年より低く、その他の地方は平年より高い。石垣島と徳島でススキが開花。



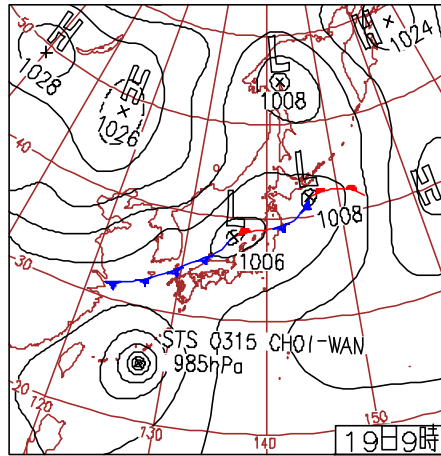
17日(水)南極観測隊雪上車訓練

気圧の谷の接近で北日本が曇りの他は高気圧に覆われ晴れ。関東以西の一部で真夏日。新潟県野積海岸では、南極観測隊員が11月の出発に備えて雪上車の運転や整備に汗を流す。



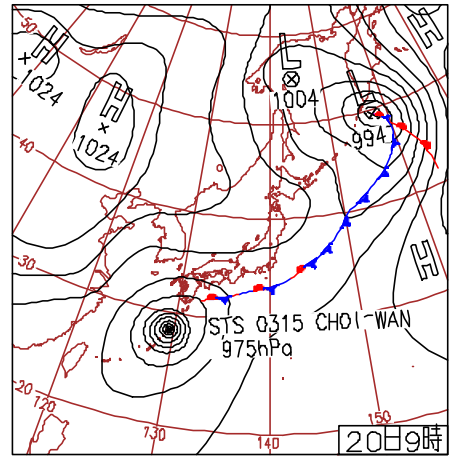
18日(木)台風第15号発生

低気圧と前線の影響で北日本は曇り、北海道の一部では明け方まで雨。関東から西は高気圧に覆われ晴れて厳しい残暑。沖縄の南海上で台風第15号発生。



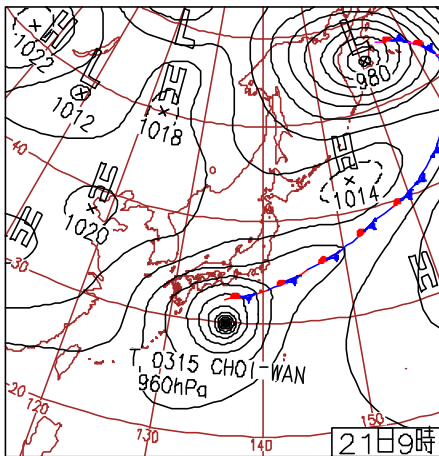
19日(金)沖縄本島に台風接近

日本海を東北東進する低気圧の影響で、中国地方や東北北部～北海道では雨。台風第15号はやや発達しながら沖縄本島に接近。沖縄では雨風とも強まる。その他は曇りや晴れ。



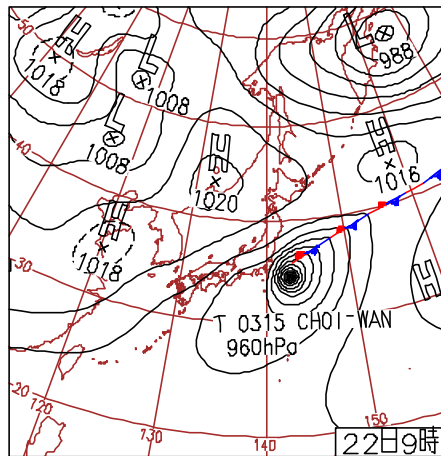
20日(土)関東で震度4の地震

台風が奄美大島付近を北東へ進む。前線と台風の影響で太平洋側を中心に雨。鹿児島県名瀬で最大瞬間風速33.4m/s。千葉県東方沖でマグニチュード5.5の地震、1都・5県で震度4。



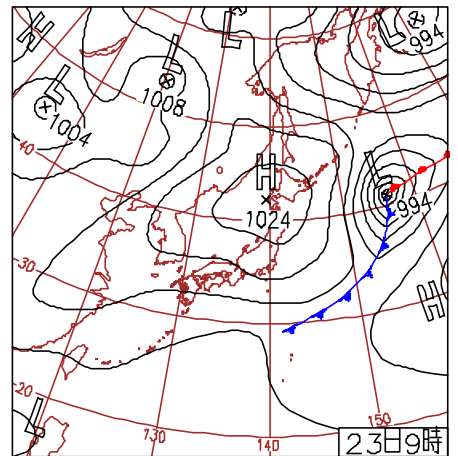
21日(日)台風八丈島付近を通過

台風第15号は太平洋沿岸を北東進。四国～東北南部で大雨。三宅島の日降水量は210mm。海上は大しけ。旭川では旭岳の初冠雪を観測、全国で今季初めての初冠雪。



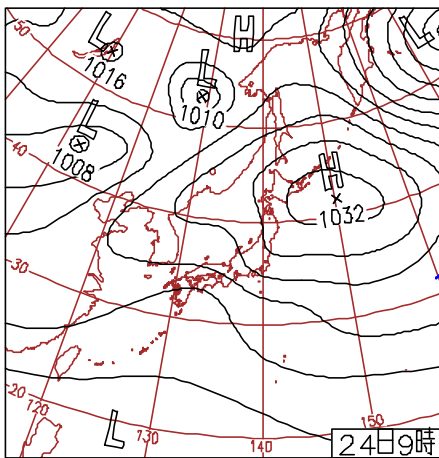
22日(月)西から台風一過

台風第15号により関東では午前中雨風ともに強く、銚子では最大瞬間風速35.1m/sを観測。午後には大陸から高気圧が進み、西日本から晴れの秋空が広がる。気温は低め。



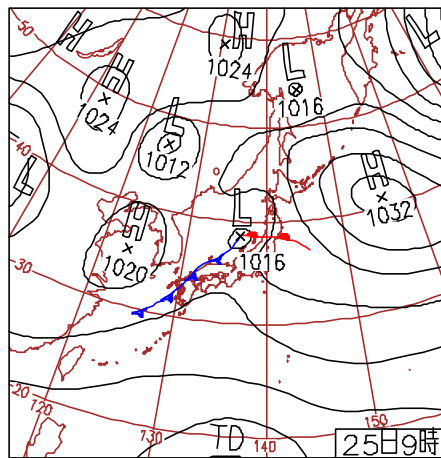
23日(火)北海道の一部で氷点下

日本海北部の高気圧に覆われ、全国的に晴れ。最低気温は低く、特に関東以北では放射冷却により10月中～下旬並の冷え込み。近畿・四国の一部では弱い気圧の谷の影響で雨。



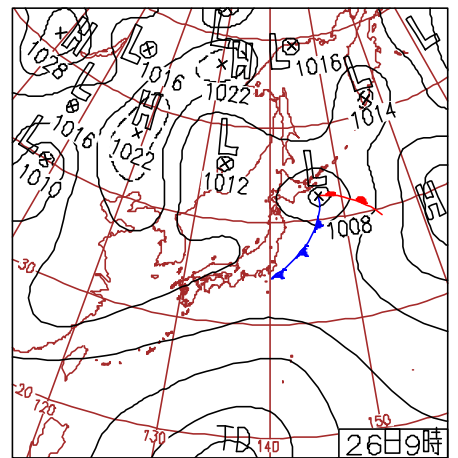
24日(水)西日本秋りん

気圧の谷の影響で西日本では曇りや雨。四国～近畿は所々で強い雨。東・西日本の最高気温は、平年より5前後低い。東京の最高気温は札幌と同じ20.6。



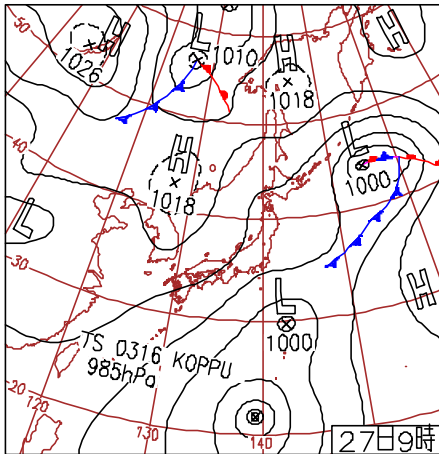
25日(木)暖・寒候期予報に新手法

東・西日本は南海上から流れる湿った空気や前線の接近により雨。気象庁は、暖・寒候期予報に数値予報モデルを導入し、確率情報が充実した新しい予報を発表。



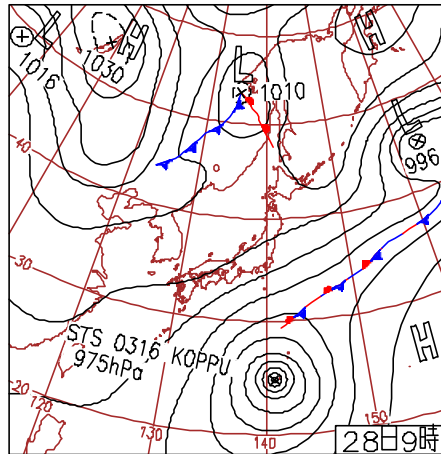
26日(金)平成15年十勝沖地震

釧路沖震源のマグニチュード8.0の地震により、北海道では震度6弱。太平洋沿岸には津波警報。西日本は次第に晴れるが、東日本は前線の影響で曇りや雨。富士山で初雪。



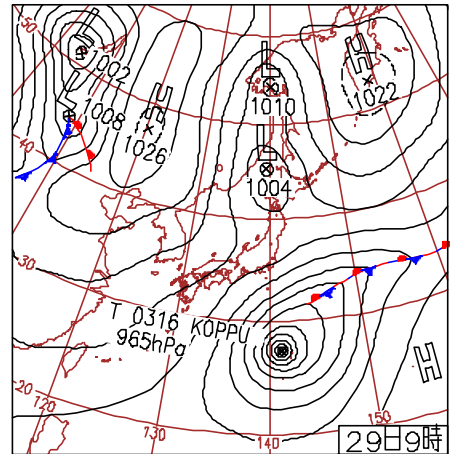
27日(土)台風第16号発生

大陸からの移動性高気圧に覆われて、北海道東部を除いて概ね秋晴れ。台風第16号が沖ノ鳥島近海で発生。発達しながら小笠原に向かう。



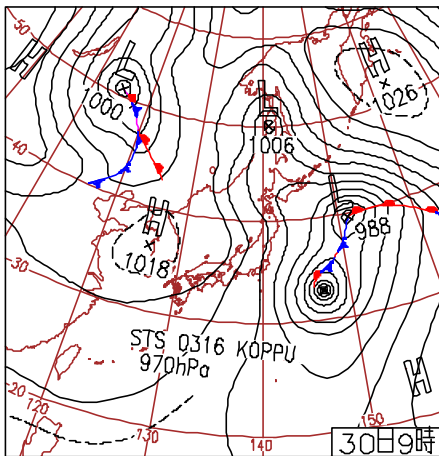
28日(日)西日本を中心に秋晴れ

大陸の高気圧が日本付近に張り出し、東・西日本は晴れて湿度も低い。北日本は気圧の谷の影響で曇り、北海道の日本海側では雨。



29日(月)父島暴風・海上大しけ

台風第16号が父島の西方海上を北東進し、父島では最大瞬間風速55.6m/sを観測。海上は暴風と大しけ。低気圧の影響で北海道が雨の他は、高気圧に覆われて爽やかな晴天。



30日(火)本州で初冠雪

台風第16号は15時に日本の東海上で温帯低気圧に変わる。上空に寒気が入り一時的に冬型の気圧配置、立山・妙高山の初冠雪を観測。その後移動性高気圧に覆われ全国的に晴れ。